

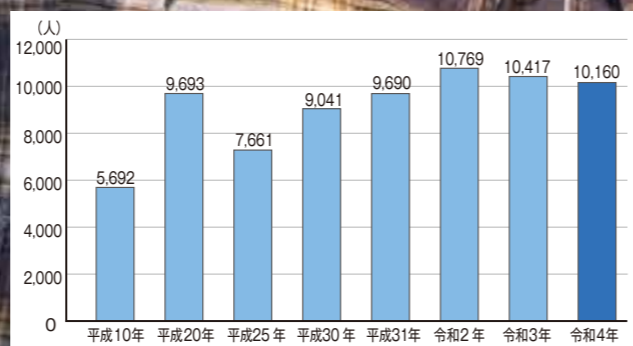
見えない壁を乗り越える

1万1,210人 — (令和4年12月末時点)

これは、本市の外国人市民の人数です。本市には多くの外国人市民が暮らしており、県内で最多です。日常生活のさまざまな場面で日本人と外国人とが関わる機会が増えました。

こうした中一方で、言葉や文化などの違いを感じていても「よく分からないから」「私たちと違うから」という理由で“壁”を作っていませんか。

本市の外国人市民数の推移 (各年3月末時点)



本市の外国人市民の国籍トップ5 (令和4年12月末時点)



多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築いていこうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

現状と課題

本市の外国人市民数は、平成20年頃まで増加していましたが、リーマンショックに伴う雇用状況の悪化や東日本大震災の影響により減少し、平成27年以降、再び増加に転じています。近年は、グローバル化の進展や新型コロナウイルス感染症の影響などにより変動しながらも、増加傾向にあります。そして、その国籍は、ブラジルをはじめとした南米諸国から、近年はベトナムやネパールなどアジア諸

国を中心に多様化しており、現在は69の国籍の人が市内に住んでいます。

本市が令和3年3月に行った、「多文化共生に関する市民意識調査」では、多くの外国人市民が日本人市民との交流を望んでいるのに対し、日本人市民の半数以上が外国人市民との交流をあまり望んでいないという結果でした。

また、日本人と外国人の文化や習慣の違いから、ごみの出し

方や騒音に関する問題が起きることがあります。私たちが当然だと思っている生活習慣や地域のルールなどは、外国人からすると分からなかったり知らなかったりするのです。

このように、お互いの文化や習慣などを理解し合っていないことで、お互いのイメージに誤解を生んでしまう現状があります。

多文化共生の実現のために

多文化共生の推進に向けて、市はさまざまな取り組みをしています。

外国人市民への啓発

市役所1階の「外国人市民向け生活オリエンテーション」窓口や笹川にある「多文化共生サロン」で、日本語習得の必要性や日本での生活上のルールなどを啓発しています。このほか、行政情報の提供や地域活動の必要性なども周知しています。

日本語学習への支援

市内には、日本語ボランティアが外国人市民に対し、日本語や日本の文化を教える日本語教室が7教室あります。

地域で開かれている日本語教室は、外国人市民にとって、仕事以外で日本社会とつながる重要な接点の一つです。日本語の学習にとどまらず、日本人市民と外国人市民が「顔の見える関係」を築くなど、相互理解や交流の場となっています。

また、外国人従業員を雇用し

ている企業にも、従業員に対して企業内での日本語教室を実施するよう働きかけています。

外国人が日本の文化やルールを理解するだけでなく、日本人も外国の文化などを理解し、歩み寄ることが大切です。

本市では、地域に暮らす住民同士が、国籍や民族、言葉や文化などの「違い」を認め合い、支え合い、尊重し合う、多文化共生社会の実現を目指しています。

教えることは学ぶこと そして私の生きがい

私は、平成17年から日本語ボランティアとして、外国人に日本語や日本の文化・ルールなどを教えています。もともと、人に何かを教えることが好きで、大学生のときから、近所の中学生に無償で英語を教えていました。3人の中学生から始まり、「この子達が卒業したら…」という繰り返しで、気付いたら30年続いていました。

この指導が一段落した後、四郷地区市民センターで行われていた外国人と交流するサークル活動に参加しました。しかし、外国人市民が多く住む笹川団地からは会場が遠いと感じ、通い



多文化共生サロン日本語ボランティア 多村清さん

やすいところに交流の場を作るべきだと考え、現在の多文化共生サロンの立ち上げに携わりました。

初めは日本語が全く分からない学習者がほとんどですが、半年後には簡単な会話ができるよ

うになり、その成長を感じられるのがとても嬉しい。そして彼らから学ぶこともたくさんあり、私の生きがいとなっています。もっと日本人が外国人と交流できる機会が増えたら素晴らしいまちになると思います。

同じ釜の飯を食う それがまず相手を知る第一歩

私たちは、会社で働く実習生を、直接現地で面接し採用しています。実習生は、日本で働くための研修などを経ているため、当初はある程度日本語を理解できるという前提で接していて、あまり交流をしていませんでした。しかし、異国の地で、不安や孤独感を解消できない状況が続くと、仕事への意欲も喪失してしまうと思い、彼らと距離を縮めるため、まずは一緒に食事をする機会を作りました。食事をする中で会話も生まれ、彼ら自身を知ることができました。そこから、だんだんと彼らに笑顔が増え、仕事も円滑に進むこ



株式会社リョウシンホールディングス 中古車本部

主任 武良健志さん

次長 藤原暁雄さん

とが多くなり、互いに信頼関係が生まれ始めた実感できました。彼らへの接し方を考えることは、他のスタッフへの指導にも応用できるなど、私たちも彼らからたくさん学ばせてもらっています。このように、私たちが彼らと一緒に勉強をし成長す

ることが会社の成長にもつながります。母国に帰った実習生が日本の良さを広め、働く場として、他の多くの国の中から日本を選ぶ人が増えるという良い循環を作っていきたいと考えています。

お互いの中にある壁をなくしたい

19年前にブラジルから日本に来ました。日本に来た当初、会社ではブラジルの人としか会話ができません、仕事の指導は通訳を通じて受けていました。でも通訳が毎日いるわけではなく、日

本人に仕事を聞くことができず、辛い思いをすることもあり、日本人と会話がしたいと思っていました。けがをし、働けない期間があったことをきっかけに、多文化共生サロンに通い始めま

した。サロンに通って4年目になり、簡単な読み書きはできるようになりました。ボランティアさんとサロンの皆さんのおかげです。

勤務時間の関係上、日本人との交流の場に参加したくてもできない外国人もいます。困難なことがあってもお互い意見を出し合って皆で解決していけるような交流の機会が増えてほしい。そうして皆が仲良く住めるまちになってほしいです。

私たちはベトナム出身で、日本に来てまだ6カ月しか経っていない人から4年目の人まで一緒に働いています。仕事内容は、自動車のメンテナンスや整備など、中古車を売り出せる状態にすることです。この技術を母国に持ち帰り、母国での仕事につながられればと思っています。

最初は、日本語の理解が難しく苦労する場面もありましたが、今は、武良さんなどからの優しい指導のもと良い環境で働いています。

日本に来て一番楽しかったことは、伊勢神宮に連れて行ってもらったことです。これをきっかけに、日本各地へ旅行に行き

たいと思うようになりました。

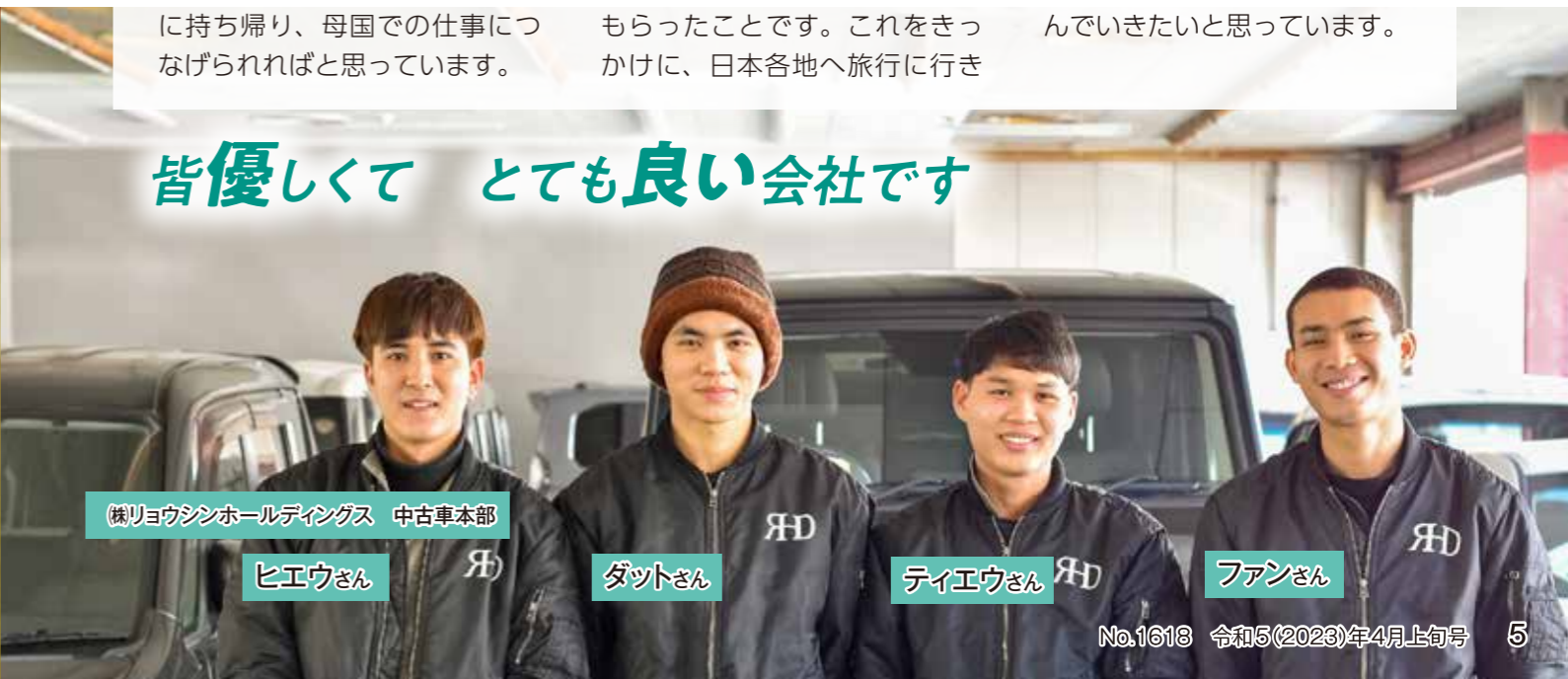
職場で、頼れるお父さんのような存在の人がいること、チームの雰囲気がユーモアにあふれていることで、とても楽しく働いています。武良さんたちの役に立てるよう、もっと仕事に励んでいきたいと思っています。



ボランティアの皆さん、
多文化共生サロンの皆さん
“ありがとう”

テイシェイラ カバルカンテ イバニルトンさん

皆優しくて とても良い会社です



株式会社リョウシンホールディングス 中古車本部

ヒエウさん

ダットさん

テイエウさん

ファンさん

やさしい日本語って?

本市に住む外国人市民が増え、その国籍も多様化する中で、外国人市民に情報を伝えたいときに、多言語で翻訳・通訳するほか、「やさしい日本語」を活用することが有効です。「やさしい日本語」とは、外国人にも分かるように配慮して、文法や単語を簡単にした日本語のことです。

使われ始めたのは

平成7年に起きた阪神・淡路大震災で、日本にいた多くの外国人が、日本語を十分に理解できなかったため、必要な情報を得られず適切な行動を取れないまま、多大な被害を受けました。そこで、災害発生時に、日本語が不慣れな外国人にも、素早く的確に情報を伝えることを目的に考案されたのが「やさしい日本語」です。

誰もが分かりやすい情報提供を目指して

「やさしい日本語」は、災害時だけでなく平常時における外国人への情報提供手段としても研究され、行政からのお知らせや生活情報の発信、観光案内など、さまざまな分野で活用されています。簡単で、より分かりやすい日本語に変換されていることから、外国人だけではなく、子どもや高齢者、障害のある人など誰にとっても有効なコミュニケーションをとる手段の一つです。

やさしい日本語クイズに挑戦!

次の日本語を「やさしい日本語」に変えてみましょう。

level1 **A** ここは通行止めです。

level2 **A** 広報よっかいちが多言語で配信しています。

level3 **A** ごみの分別はきちんとし、指定日に出してください。

level4 **A** 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は四日市地区自治会の運営につきまして格別のご協力をいただきありがとうございます。さて、定例会を4月25日(火)19時に第一集会所にて開催します。ご多用とは存じますが、ご出席くださいますようお願いいたします。

- 例
- 1 ここは通ることができません。
 - 2 広報よっかいち、英語や中国語、韓国語、タイ語など10言語で読めます。
 - 3 ごみは分けて出します。燃えるごみは○曜日、ビンやカン△曜日です。
 - 4 四日市自治会からのお知らせです。4月25日火曜日に定例会があります。夜7時に第一集会所に来てください。

やさしい日本語のポイント

★情報を整理する

例文 大きな地震が発生するなどした場合、安否の確認、問い合わせなどで電話がつながりにくい状況が起こることがあります。

地震が発生した場合、電話がつながりにくい状況が起こります。

★一文は短くする

例文 婚姻をするときは、役所に届出をし、届出が受理されると、婚姻が成立します。

結婚するときは、役所に「婚姻届」を出します。役所が「婚姻届」を受理すると、結婚が成立します。

★外来語(カタカナ語)はなるべく使わない

例文 スキーム→計画
コンセンサス→合意

★二重否定を使わない

例文 在留カード以外は必要ありません。

在留カードを持ってきてください。

★簡単な言葉を使う

例文 こちらに記入願います。

この紙に書いてください

「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」より抜粋

「やさしい日本語」に正解はありません。相手によって何が「やさしい」のかを考えながら、いろいろな方法を試してコミュニケーションをとっていくことが大切!

お互いが歩み寄る

多文化共生の中心的な役割を担うのは市民の皆さんです。地域に住む市民同士が互いに話し合い、理解し合っていくことが多文化共生社会の実現に向けた一歩となります。市では、お互いが歩み寄り、共生していくことを目指し、外国人が日本語を学ぶ場だけでなく、お互いの言語や文化を学ぶ場を設けています。ぜひご参加ください。

外国人が日本語を学ぶ場

教室名	時	所	問
多文化共生教室	月～金曜日 ① 10:00～11:30 ② 13:30～15:00 土曜日 10:30～12:00	多文化共生 サロン	059-322-6811
YIC 日本語サークル	火～日曜日 9:00～17:00	市役所 北館5階	059-353-9955
Viva あみーご	火曜日 19:30～21:00	笹川小学校 視聴覚室	059-394-2407
くすのき 日本語教室	日曜日 9:30～11:30	なやプラザ	090-6077-3331
四日市 日本語サークル	水曜日 19:20～20:45	中部地区 市民センター	090-7911-1610
とみすはら 日本語教室	木曜日 19:00～20:30	富洲原地区 市民センター	059-364-9538
にほんごかふえ	第1・3土曜日 19:00～20:30	三重 YMCA 幼稚園	080-7195-1098

日本人が外国文化を学ぶ場

ネイティブティーチャーと楽しく外国語を学ぶ! (5月16日開講・全10回)

対 16歳(高校生)以上 時 内 ホームページ(HP <https://yokkaichi-shinko.com/yic/>)をご確認ください

所 四日市国際交流センター(市役所北館5階)

申 4月15日～30日までに、受講希望講座名、住所、名前(ふりがな)、日中連絡のとれる電話番号、メールアドレス、語学レベル、受講動機を、往復はがきかファクス、またはEメール(✉ yic@yokkaichi-shinko.com)で、〒510-8601 国際交流センターへ

他 ホームページまたは各地区市民センターで配布する募集案内要項で、詳しい内容をご確認の上、お申し込みください

市からのお知らせを多言語でお伝え

本市では、市内に住む外国人市民の暮らしがより充実したものになるよう、さまざまな方法で情報をお伝えしています。ぜひご活用ください。

Catalog Pocket

カタログポケット



✓10言語に対応しています

【対応言語】日本語、英語、中国語繁体字・簡体字、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語

✓ポップアップで拡大でき、UD(ユニバーサルデザイン)書体で表示されます

✓自動音声読み上げも可能です



四日市市ホームページ 自動翻訳機能



市ホームページでは、掲載情報を外国語へ自動翻訳するサービスを導入しています。現在、英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・韓国語・ベトナム語の6言語に翻訳しています。市ホームページのトップページのヘッダー部にある翻訳ボタンからご活用ください。